

長野市放課後子ども総合プラン事業 自己評価シート

実施年度： _____ 年度 _____ 事業者名： _____ 施設名： _____

各評価指標について、できている場合は「○」、できていない場合は「×」を記入

〈評価項目1〉人権への配慮、秘密の保持等、基本的事項に関すること

評価指標	チェック	評価基準 (チェック欄の○の数)	評価結果
①児童及びその家族の人権に十分配慮し、一人一人の人格を尊重している。		4個⇒「◎」 3個⇒「○」 2個⇒「△」 1個以下⇒「×」	
②児童及びその家族の国籍、信条又は社会的身分等によって、差別的な扱いをしていない。			
③児童虐待等、児童の心身に有害な影響を与える行為をしていない。			
④児童及びその家族の個人情報を適切に取扱っている。また、正当な理由がなく、業務上知り得た児童及びその家族の秘密を外部に漏らさないよう配慮している。			
コメント (評価の理由、問題点、独自の工夫、今後の取り組みなど)			

〈評価項目2〉運営管理に関すること (保育実費の負担を求めている施設は、⑩は回答不要)

評価指標	チェック	評価基準 (チェック欄の○の数)	評価結果		
A B ①実施日は、1年につき250日以上を原則とし、保護者の就労状況、学校の授業日、その他地域の実情を考慮して設定している。 ②実施時間の延長については、保護者の意向を把握するためのアンケート調査を地域の実情に応じて実施し、運営委員会で決定した方針に基づいたものとしている。 ③運営規程を定め、運営規程に沿った事業運営を行っている。 ④職員は、自己研さんに励み、児童の健全な育成を図るために必要な知識及び技能の習得、維持及び向上に努めている。また、職員間で必要な知識及び技能の共有を図っている。 ⑤運営内容向上のため、提供する支援の内容等について自己評価を行っている。 ⑥自己評価の結果は、掲示板への掲示や通信(施設だより等)への掲載などにより公表に努めている。 ⑦要望・苦情を受け付ける窓口を設置し、周知している。 ⑧苦情を受けた場合は速やかに対応し、申立人に対して丁寧な説明や対応を心掛け、誠意ある解決を図っている。 ⑨おやつを提供については、保護者の意向を把握するためのアンケート調査を地域の実情に応じて実施し、運営委員会で決定した方針に基づいたものとしている。 ⑩おやつ代等保育実費の負担を求める場合、保護者に対して料金設定の理由を明確にしている。		A 保育実費の負担を求めている施設 (①~⑩) 10個⇒「◎」 7~9個⇒「○」 4~6個⇒「△」 3個以下⇒「×」			
	コメント (評価の理由、問題点、独自の工夫、今後の取り組みなど)				

〈評価項目3〉育成支援の内容に関すること (おやつを提供していない施設は、⑨は回答不要)

評価指標	チェック	評価基準 (チェック欄の○の数)	評価結果		
A B ①児童の出欠席についてあらかじめ保護者からの連絡を確認しておくとともに、児童の心身の状況を把握するようにしている。 ②実施場所での生活を通して、児童が日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得できるよう支援している。 ③児童が発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができるよう支援している。 ④児童が自分の気持ちや意見を表現することができるよう支援している。 ⑤児童が悩みや相談事を話しやすい雰囲気づくりに心掛けるようにしている。 ⑥児童が安全に安心して過ごすことができるように環境を整備するとともに、緊急時に適切な対応ができるようにしている。 ⑦実施場所での児童の様子を日常的に保護者に伝え、児童に関する情報を保護者と共有するようにしている。 ⑧児童の健康状況を観察し、病気やけがの場合には、保護者と連絡を取り、迎えに来てもらったり、状況に応じて医療機関につなげたりするなど、児童が安心して回復に向かうことができるよう配慮している。 ⑨おやつを提供する場合、提供する時間や内容、量等は、児童の来所時間や帰宅時間、遊びや生活の流れ、児童の状態を考慮している。		A おやつを提供している施設 (①~⑨) 9個⇒「◎」 7・8個⇒「○」 4~6個⇒「△」 3個以下⇒「×」			
	コメント (評価の理由、問題点、独自の工夫、今後の取り組みなど)				

〈評価項目4〉配慮を要する児童への対応に関すること

評価指標	チェック	評価基準 (チェック欄の○の数)	評価結果
①児童同士が生活を通して共に成長できるよう、障害のある児童についても受入れに努めている。		6個⇒「◎」 5個⇒「○」 3・4個⇒「△」 2個以下⇒「×」	
②障害のある児童の受入れの判断は、児童や保護者と面談の機会を持つなどして、児童の健康状態、発達の状況、家族の状況、保護者の意向等を個別に把握し、適切に行っている。			
③障害のある児童の育成支援については、個々の状況に応じて、関係機関及び専門家と連携を図っている。			
④障害のある児童の育成支援が適切に図られるように、児童の状況に応じた職員の配置や加配に努めている。			
⑤児童虐待が疑われる場合には、市又は児童相談所に速やかに通告するようにしている。また、学校及び関係機関と連携して適切に対応している。			
⑥児童間でいじめ等の関係が生じないように配慮し、いじめ等の問題が生じたときには速やかに学校に連絡し、保護者、学校、関係機関と連携して適切に対応している。			
コメント (評価の理由、問題点、独自の工夫、今後の取り組みなど)			

〈評価項目5〉多様な体験活動、交流等の機会の提供に関すること

評価指標	チェック	評価基準 (チェック欄の○の数)	評価結果
①児童に多様な体験活動、交流等の機会を定期的かつ継続的に提供している。		4個⇒「◎」 3個⇒「○」 2個⇒「△」 1個以下⇒「×」	
②小学校区における事業の円滑な実施を図るため、運営委員会、学校関係者、地域組織（母親クラブ等）、地域住民、保護者等との総合的な調整に努めている。			
③地域社会全体で児童を見守り育む機運を高めるため、地域ボランティアの掘り起しと、活用に努めている。			
④活動の内容は特定のものに偏ることのないよう配慮し、児童の要望を反映するように努めている。			
コメント (評価の理由、問題点、独自の工夫、今後の取り組みなど)			

〈評価項目6〉安全管理に関すること（おやつを提供していない施設は、⑨は回答不要）

評価指標	チェック	評価基準 (チェック欄の○の数)	評価結果		
A ①児童の手洗いやうがいを励行するなど、日常の衛生管理に努めている。 ②感染症の発生状況について情報を収集し、感染症の発生や疑いがある場合には、二次感染を防止するための措置を講じるようにしている。 ③実施場所及びその周辺の設備等の安全性について日常的に点検している。 B ④事故及びけがの防止に向けた対策や発生時の対応に備えた訓練又は研修を実施している。 ⑤事故及びけがが発生した場合には、速やかに適切な処置を行い、速やかに保護者に連絡するようにしている。 ⑥災害等が発生した場合に迅速かつ適切に対応できるように定期的に訓練を実施している。 ⑦市及び学校等関係者と連携を図り、地域における児童の安全確保及び安全点検に関する情報の共有に努めている。 ⑧災害等が発生した際に保護者及び市、学校等に速やかに連絡できるよう連絡体制を整備している。 ⑨おやつを提供する場合には、食物アレルギー及び窒息事故の防止に留意するとともに、食中毒防止のための衛生管理を徹底している。		A おやつを提供している施設（①～⑨） 9個⇒「◎」 7・8個⇒「○」 4～6個⇒「△」 3個以下⇒「×」			
	コメント (評価の理由、問題点、独自の工夫、今後の取り組みなど)				

〈評価項目7〉保護者、学校及び地域との連携協力に関すること

評価指標	チェック	評価基準 (チェック欄の○の数)	評価結果
①保護者との信頼関係を築くよう努めるとともに、子育てのこと等について保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心掛けている。		4個⇒「◎」 3個⇒「○」 2個⇒「△」 1個以下⇒「×」	
②保護者から相談がある場合には、保護者の気持ちを受け止め、対応している。			
③児童の毎日の生活が学校、実施場所、家庭の間で連続性をもって円滑になるよう、学校と情報交換を行い、連携を図っている。			
④児童が地域の中で健やかに育つことができるよう、運営委員会及び民生委員・児童委員、地域組織（母親クラブ等）、児童に関わる関係機関等との情報交換、情報共有及び相互交流を行い、連携を図っている。			
コメント (評価の理由、問題点、独自の工夫、今後の取り組みなど)			